


ウィンディ×ウィンダム

【ういでいういんだむ】

ジャンル	2D格闘アクション	
対応機種	ニンテンドーDS	
発売元	サクセス	
開発元	ニンジャスタジオ	
発売日	2008年7月31日	
定価	3,990円	
分類	クソゲー判定	
ポイント	お手軽すぎる永久コンボ 他社格ゲーの工夫もない模倣及び劣化 イヅナ頼みのウィンディ×ウィンダム	
<p>クソゲーオブザイヤー2008携帯機/ノミネート作品</p> <p><u>梅沢由香里のやさしい囲碁(DS)/THE ゾンビクライシス/ぷちえう`あ/海腹川背Portable/エンブレム オブ ガンダム/</u> <u>高校野球育成アクションゲーム めざせ!甲子園(DS)/ ウィンディ×ウィンダム /メジャーDS ドリームベースボール/</u> <u>みてはいけない!逆境無頼カイジ Death or Survival</u></p>		

- ▶ [概要](#)
- ▶ [問題点](#)
- ▶ [その後の展開](#)
- ▶ [余談](#)

概要

- ▶ 『降魔霊符伝イヅナ』でヒットを飛ばしたサクセスが送り出した2D格闘ゲーム。
- ▶ とある世界の中央に位置する王国ガウェイン。人々は「ウィンディ」という名の器具を身につけ、時間制限は人により多少あれど空を飛ぶことが可能である。その力は権力の象徴であり、争いの種でもあった。
- ▶ そんなある時、王都ファリウスにて大会が開かれる。「優勝者の望みを叶え、一切の自由を約束する」との御触れ付きで、あるものは富と名声のため、ある者は自由のために参加する。
- ▶ 登場キャラは10名。『降魔霊符伝イヅナ』から「イヅナ」「シノ」も隠れキャラクターとして参戦。
 - ▶ ...まあ、上のパッケージ画像で御覧の通り、出ることをまるで隠していないのだが（公式サイトでも当初から堂々と紹介）。

問題点

- ▶ 超簡単にできる永久コンボが備わっている。
 - ▶ 打ち上げた後に弱連打でカウンターストップ余裕と、かなり成立しやすい。キャラによってはただ連打するだけで繋がることも、もはや対戦ツールとして機能していない。
 - ▶ 「ハメも永久も使わないとお互いに誓い合えば地味に楽しい」との話。

+ 動画

- ▶ CPUが最高レベルにしても弱い。
 - ▶ 難易度を上げてても敵の攻撃力、防御力が上がるのみ。プレイヤー曰く「猫と遊んでいた方がまし」。
- ▶ ノックバックなど、基本の調整がまるでできていない。
- ▶ 売りである空中戦はCPUが仕掛けてこないのを使う機会がなく、使ったとしてもただ「飛んだだけ」レベル。
- ▶ 演出が一世代前のレベル。
- ▶ どこかで見たような設定を連ねた、新鮮味ゼロのオリジナルキャラ。
 - ▶ その魅力の薄いオリジナルキャラクターに加えて、パッケージ裏に「イツナ参戦！」と、同会社・他作品の主役の参戦を売りの一つに、いくらあまり大きくない・引き出しの少ないメーカーと言えど、知名度のさほど高くない、歴史の浅いシリーズ（本作発売時点ですべての2作）の非常にアクの強い（わがまま・自分勝手・強引）主役キャラをアピールポイントにしようとは、スタッフもいい根性をしている。彼女以上に世間受けしている・歴史の長いキャラクターたちのオールスターゲームでもコケることがあるというのに…。
- ▶ 要するに、格闘ACゲームとしてもキャラゲーとしても三流品である。
- ▶ とどめの他社格ゲーからのトレース疑惑（代表的なのは『[ストリートファイターIII](#)』、『[GUILTY GEAR X](#)』、『[サムライスピリッツ](#)』から）。キャラクターの一人であるスティンは『GUILTY GEAR X』のプリジットにそっくりである。

その後の展開

- ▶ 後にファミ通の企画「あのゲームが失敗した理由」で取り上げられ、スタッフインタビューの形で公開処刑された。
- ▶ その後ニンジャスタジオは『タクティカルギルド』、『タクティクスレイヤー～リディナガード戦記』と微妙なゲームの下請けに携わり信用を失っていき、現在に至っては公式サイトも消滅している。メーカー本社には看板こそ残っているが、人がいる気配がないために事実上の倒産と思える。

余談

- ▶ KOTYでは格闘ゲームは中々ノミネートされにくい（ある住民曰く「形になってればとりあえず遊べる」）のだが、このゲームはバランスどころの問題ではなかったので、格ゲーの壁を超えノミネートされた。
- ▶ KOTYでは「宇宙ヤバイ」のコピペを改変した選評が作られた。
- ▶ 発売日が『[めざせ!甲子園](#)』、『[メジャーDS](#)』と同じであった。ページの上を見ればわかる通り、全作品この年のノミネート入りを果たしている。